建設業年末年始労働災害防止強調期間

参考:「建設業年末年始労働災害防止強調期間実施要領」(建災防)を加工して作成

スローガン 無事故の歳末 明るい正月

2025年12月1日~ 2026年1月15日

参考:「労働災害統計」(厚生労働省)(https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.html)を加工して作成

業種別 死亡災害発生状況 林業 30人 その他 64人 陸上貨物 運送事業 計778人 建設業 278人 2021年 第三次産業 186人 製造業 131人 89人 28人 37人 281人 計**774** 2022年 198人 140人 90人 29人 46人 計755人 223人 2023年 209人 138人 110人 31人 39人 全体の 計746人 2024年 194人 142人 108人 を建設業が 占めている

設業における月別死亡災害発生状況



事故の型別死亡災害発生状況 2024年 ワースト5

順	事故の型	2023 年	2024 年	比較
1	墜落•転落	86	77	-9 ⊭
2	崩壊·倒壊	18	30	12 🖊
3	はさまれ・ 巻き込まれ	13	25	12 🖊
4	激突され	10	21	11 🎢
5	交通事故(道路)	25	18	-7 /



高所作業車などの作業装置を上げたままにしておくと、作業装置が下がる恐れがあります。



フォロー



ホームページでも最新情報を お届けしています。是非ご覧ください。





弊社は皆様の、安全作業に関するよりよい情報をご提供するため、安全ニュースの製作・配布に 取り組んでおります。下記、ご理解いただき、ご活用いただけますようお願い致します。

●安全ニュースの一部または全部において、個人・法人を問わず、弊社および引用先(各種団体 など)の許諾を得ずに、いかなる方法においても、営利目的にて、無断で販売・復写・複製・賃貸・ 加工・加筆および、公衆送信(インターネットやそれに類した送信)などを利用して提供すること を禁じております。

●弊社は、本紙の内容において如何なる保証も行いません。

●本紙内容にて発生した障害および事故についても、弊社は一切責任を負いません。



見やすく読みまちがえにくい ユニバーサルデザインフォントを 採用しています。





●盗難防止対策POINT

2025年

編 集・発 行

株式会社レンタルのニッケン 安全部/営業支援部

お問い合わせ

TEL.03-6775-7811

2026年 1月号の予告

新年のご挨拶

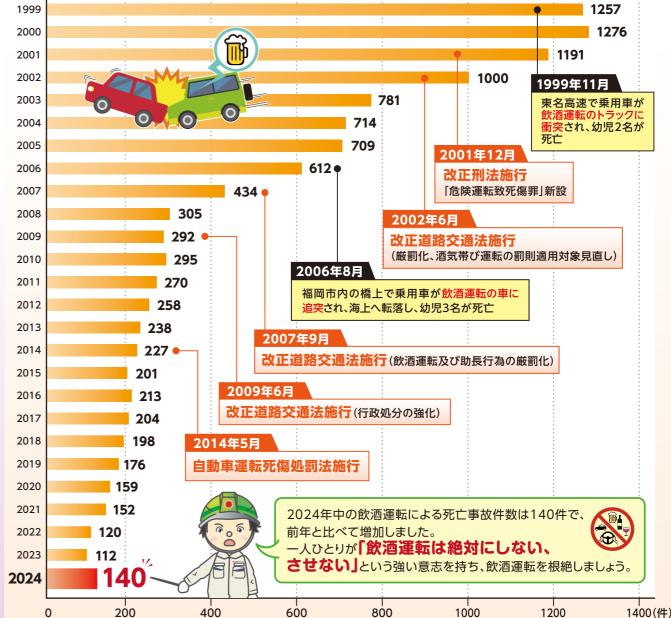
建設業年末年始労働災害防止強調期間

- 飲酒運転による死亡事故件数の推移
- 飲酒運転根絶のために
- 建設業年末年始労働災害防止強調期間

飲酒運転による死亡事故件数の推移

参考:「みんなで守る「飲酒運転を絶対にしない、させない」」(警察庁) (https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/insyu/info.html)を加工して作成

一般原付以上運転者(第1当事者)の飲酒死亡事故件数の推移(1999年~2024年) (年) 1999 1257 2000 1276



※「飲酒死亡事故」とは、第1当事者の飲酒状況が酒酔い、酒気帯び、基準以下、検知不能のいずれかに該当する場合の死亡事故をいいます。

飲酒運転根絶のために

参考:「みんなで守る「飲酒運転を絶対にしない、させない」」(警察庁) (https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/insyu/info.html) を加工して作成

飲酒運転には厳しい行政処分と罰則が!



酒酔い運転※

画車を 酒気帯び運転

6,6

行政処分

- ●基礎点数…35点
- ●免許取消し…欠格期間3年※2、3

罰則

運転者

5年以下の拘禁刑又は100万円以下の罰金

車両等の提供者

5年以下の拘禁刑又は100万円以下の罰金

酒類の提供者・同乗者

3年以下の拘禁刑又は 50万円以下の罰金



- ※1「酒酔い」とはアルコールの影響により車両等の正常な 運転ができないおそれがある状態をいう。
- ※2 前歴及びその他の累積点数がない場合。
- ※3 「欠格期間」とは運転免許の取消処分を受けた者が 運転免許を再度取得することができない期間。



●呼気中アルコール濃度0.15mg/l 以上、0.25mg/l 未満

行政処分

- ●基礎点数…13点
- ●免許停止…期間90日※2
- ●呼気中アルコール濃度0.25mg/l 以上
- ●基礎点数…25点
- ●免許取消し…欠格期間2年※2.3

罰則

運転者

3年以下の拘禁刑又は50万円以下の罰金

車両等の提供者

3年以下の拘禁刑又は50万円以下の罰金

酒類の提供者・同乗者

自転車の酒気帯び運転のほか、

酒類の提供や同乗・自転車の提供

2年以下の拘禁刑又は30万円以下の罰金

参考:「自転車のスマホ・酒気帯び罰則強化」(警察庁) (https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/bicycle/pdf/R6_leaflet_jitensya.pdf)を加工して作成

2024年11月1日 道路交通法の改正

自転車の危険な運転に新しく罰則が整備されました



運転中のながらスマホ

スマートフォンなどを手で保持して、 自転車に乗りながら通話する行為、 画面を注視する行為が新たに禁止 され罰則の対象に。



※停止中の操作は対象外

違反者

6ヶ月以下の拘禁刑又は10万円以下の罰金

交通の危険を生じさせた場合

1年以下の拘禁刑又は30万円以下の罰金



違反者

3年以下の拘禁刑又は50万円以下の罰金

自転車の提供者

に対して新たに罰則が。

3年以下の拘禁刑又は50万円以下の罰金

酒類の提供者・同乗者

2年以下の拘禁刑又は30万円以下の罰金

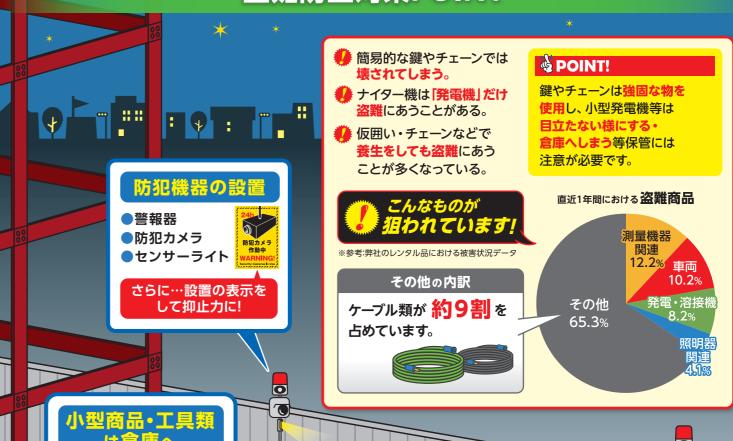
■ 運転中のながらスマホ、酒気帯び運転は自転車運転者講習制度の対象になります。

参考:[2024年11月自転車の[ながらスマホ]が罰則強化![酒気帯び運転]は新たに罰則対象に!](政府広報オンライン)(https://www.gov-online.go.jp/article/202410/entry-6604.html)を加工して作成

こんな運転も

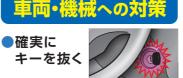
- **傘さし運転**(5万円以下の罰金等) **並進運転**(2万円以下の罰金又は科料。「並進可」の標識があるところを除く。)
- 2人乗り(5万円以下の罰金。都道府県公安委員会規則の規定で認められている場合を除く。)
- イヤホンやヘッドフォンを使用するなどして安全な運転に必要な音又は声が聞こえない状態での運転(5万円以下の罰金)

盗難防止対策POINT



第三者の 立入禁止措置

- ●ガードマン等による現場巡回の実施
- ●門扉の内側にアウトリガ 付きの車両を置く
- ●防犯センサーの設置



●イモビライザーを装備

工具類は無くなった場合

すぐわかるよう

整理整頓して

- ●バッテリーを取り外すなど エンジンがかからない措 置をする
- ●アウトリガを張り出して 駐車する
- ●タイヤロック、ハンドル ロックをする



~不審者を見かけたり被害にあった場合は直ちに警察に通報しましょう~